様式－１

「計測・モニタリング技術」申請書

令和　　年　　月　　日

応募者名：

　　印

所在地：

電話：

*（応募者が複数の場合は、以下同様に列記する。）*

下記の技術を「計測・モニタリング技術」として応募します。

記

　　ふりがな

1. 技術名称：

　　 （副題） ：

２．窓口担当者（選定結果通知先等）

法人名：

所　属：

役職・氏名：

所在地：〒

電　話：　　　　 ＦＡＸ：

E-Mail：

*（応募者が複数の場合は、応募者毎に窓口担当者1名を以下同様に列記する。その場合、最初に記載した窓口担当者を代表窓口担当者（選定結果通知先）とする。また、応募者が複数の場合でも、選定結果の通知は、代表窓口担当者宛にまとめて送付する。）*

３．共同開発者

共同開発者名：

部署：

役職・担当者：

所在地：〒

電話：　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ：

*（共同開発者が複数の場合は、以下同様に列記する。）*

様式－２

技　術　概　要　書

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 公募タイプ  （○を付けて下さい） | | 「ニーズ型」　／　「シーズマッチング型」 | | | | |
| ニーズ型の技術  （○を付けて下さい） | | ①ＰＣケーブルや吊材  ③橋梁基礎の洗掘 | | ②支承の機能障害  ④トンネル付属物の変状 | | |
| ふりがな  技術名称（副題） | |  | | | | |
| 技術の概要  （200字以内） | |  | | | | |
| 技術の詳細  （箇条書きまたは参照資料番号・頁を記入）  （ポイント箇条書き） | | ① 応募技術の概要・特徴  ※応募技術の外観や活用の様子が分かる写真や図を添付  ② 応募技術の原理  ③ 応募技術の使用方法  ④ 応募技術を使用する場合の条件（注意）など  ⑤ 点検の合理化・活用の効果  ⑥ 概略費用(調査費用、機械経費、その他費用)  ⑦ 検証方法・実施手順 | | | | |
| ⑧特許等取得状況 | | 特許 | □有り　　　□出願中　　　□出願予定　　　□無し | | 取得年 | 年 |
| 実用新案 |  | | 取得年 | 年 |
| ⑨施工実績 | | 国土交通省　：　　　　件　　　その他公共機関　：　　　　件　　　民間：　　　　件  *施工実績がある場合は、「参考－１ 施工実績内訳書」に記入すること* | | | | |
| 【⑩添付資料一覧】  添付資料－１  添付資料－２  添付資料－３  【留意事項】 | 様式以外の添付資料の一覧を記入  *（パンフレット：作成している場合は添付）*  *（特許等の公開・公告された写し：特許権等の取得状況が該当する場合必ず添付）*  *※１　特許等の公開・公告された写しの資料については、公開特許公報のフロントページ（特許番号、発明の名称が記載されているページ）のみとして下さい。*  *※２　特許の数が多く、１０枚に収まらない場合は、応募した技術の中で重要度の高いものについて添付して下さい。*  *①添付資料については、各10枚を上限に収まるように要約して作成して下さい。*  *②「添付資料１～２」の中で該当する添付資料が無い場合は、添付資料番号を繰り上げないで下さい。その他の添付資料については「添付資料-３」から添付資料番号をつけて下さい。* | | | | | |

※この様式は、今回の審査の参考として用いるものであり、無断で他の目的に使用することはありません。

参考―１

施工実績内訳書

*施工実績がある場合は、最新の３～５件程度を記入して下さい*

技術名：

申請者名：

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発注者  *（国・地方自治体・民間等）* | 工事名称 | 施工箇所  *（○○県○○市等）* | 工事年 | 工事内容*（施工数量○○㎡等）* | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

*注１）施工実績がない場合は、「施工実績なし」と記入し、提出して下さい。*

*注２）この様式は、今回の審査の参考として用いるものであり、無断で他の目的に使用することはありません。*